

## 甲斐市議会総務教育常任委員会会議録

1. 開催日時 平成27年10月7日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（7名）

委員長	三浦進吾君	副委員長	滝川美幸君
	山本今朝雄君		長谷部集君
	小浦宗光君		保坂芳子君
	樋泉明広君		

### 欠席委員（なし）

### 傍聴議員（1名）

議長 有泉庸一郎君

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長 武川訓 書記 山岡広司

### 審査内容

1 平成28年度当初予算への要望について

開会 午前 9時58分

○書記（山岡広司君） 改めましておはようございます。

昨日、市民と議会の対話集会ご苦労さまでした。

きょうは平成28年度当初予算要望書案ということで、各常任委員会で内容等を練っていただきまして、提出のほうをしていきたいと思っておりますので、よろしくご審議をお願いをしたいと思います。

それでは、三浦委員長より挨拶をいただき、進行のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（三浦進吾君） おはようございます。

ここのところ韮崎は大変話題になって、この前9月27日が市議会議員の選挙がございまして、26日ですか、たまたま私も移住・定住で空き家バンクの関係で東京の八重洲で、そうしたら韮崎の担当者が移住・定住で同じ場所でイベントをやっておったんです。次の日、27日が市議会議員の選挙で告示ということで、それも韮崎が選挙も含めて話題になりました。4日が投票日でございまして、5日に投票された名前が載った。

また昨日、大村智先生がノーベル賞。韮崎が大変いろんな形で話題になって、大変うれしく思うところでございます。大村美術館も昔行ったことがございますけれども、今までは1日30人か40人くらいだったという中で、きのうは何か750人くらい大変多くの方が来られたと。それでまた無料ということでございます、1週間くらい無料でございます。大変安く、隣の韮崎が話題でございましてけれども、甲斐市も負けておれませんけれども、きょうは総務常任委員会でございまして。皆さん方委員が提案なされましたご意見を拝聴しながら、委員会を進めたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

ただいまの出席委員は7名です。定足数に達しておりますので、これより総務教育常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、平成28年度の当初予算の要望について本委員会で取りまとめ、決算審査特別委員会に提出するための協議を行います。

それでは、これより内容に入ります。

○委員長（三浦進吾君） 1、平成28年度当初予算への要望については、さきの決算審査特別委員会において各常任委員会で取りまとめ、提出することになっております。

各委員より要望書を提出していただいておりますので、要望書の趣旨を順次説明いただき、内容を協議の上、全会一致の事業について1つ申し添えます。各常任委員会から2件ほど決算審査特別委員会に提出したいと思いますが、いかがでしょうか。ご意見があればお願いいたします。

何か各常任委員会から2件くらい、例えば総務から2件くらいということがございますけれども、今回は皆さんのお手元に配付してありますけれども、総務の場合は6要望書が出ておりますけれども、そのことも含めて協議したいと思います。

何かご意見があればお願いいたします。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 私は、要望を2項目出しているけれども、1の項目は取り下げてもらって結構です。これは、きのうも市民との対話集会でも出ましたけれども、気持ちとしてはこれは設置してもらいたいなという気持ちなんです、くどくどやるとまたいろいろ問題が出てくるかなということで、検討する余地はあるんですが、取り下げいただくということで、2項目のほうに集中、やりたいと思いますけれども、お願いいたします。

○委員長（三浦進吾君） わかりました。

ただいま樋泉委員のほうから2案出ておまして、今本人から、1、2ございまして、1のほうを取り下げたいということがございますけれども、そのようにしてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。では、そのようにいたします。

それでは、この要望書について説明をお願いいたします。

私から言ってよろしいですか。順序が1になっているから、いいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） 私のほうとしましては、いろいろ例えばここに書いてあります。竜王庁舎職員の駐車場賃貸料、あるいはほかにも駐車場ございますけれども、地権者が4名ほどいらっしゃるんですね。毎年更新をなさっているという中で、もちろん契約期限はございますけれども、これはやっぱり行政のほうがそういう打ち合わせをしながら、今は評価も安くなっておりますし、買い上げをしたりと、そうしますと今の賃料を考えますと例えば10

年払えば買えたと、あるいはこれからもこの土地は必要でございますので、いつときは予算も要るでしょうけれども、賃貸ばかりでなくて購入を考えたらどうかということで提案と。

もう一つは、竜王西小学校用地、これはやっぱり学校用地でございますから、学校が転校するとか、あるいは閉鎖するというのであれば、やむを得ないということでございますけれども、まだまだずっと存続するわけでございますから、借地料としてやるよりは購入も考えたらどうかと。あるいは竜王中学校のテニスコート用地借上料、あるいは竜王南部公民館駐車場用地借上料、いろいろございます。一遍に全部じゃなくても順次、4つも賃貸料等について高額な賃貸料を計上しておりますが、削減に向けて行政でも努力していただき、今後の方向性を、予算計上をお願いしたいということで、私は提案させていただきます。

ただいまの説明で終わりましたが、何か質疑等がありましたらお願いいたします。

滝川副委員長。

○委員（滝川美幸君） 今、三浦委員長の説明で、私もこれを聞いたときに、私はやっぱり竜王西小学校の子供たちも通学していましたけれども、こういうことはやはり一般市民のときには知らなくて通っていましたね。もう竜王西小が開校してから、うちの41になる長男が小学校4年生で西小が出ました。それからずっとですと、随分長い期間のこの使用料というのを払っていたんだなということで驚きましたけれども、このときの契約の形がいろいろあって、見直しできるような契約をしていたかどうかもあるようですね。

その年の価格というのは、そのときによって違ってきますから、三浦委員長がおっしゃったとおり、今の大体標準でという形なのか、30年なら30年全部、一律の金額でという契約を市のほうでしたのかどうか、そのときは町ですが、したのかどうかでも大分違うということは、私もちょっとは調べたんですけども。これはあのとき私もよく聞いてなかったんですけども、30年でしたか、最初の契約は。

○委員長（三浦進吾君） 私がここで意見を述べることはちょっとできないから、それは聞いておきます。

○委員（滝川美幸君） そうですか。でも、今までその契約は何千万という金額になると思うんですね。それをここでまた一度に買い上げということになると、大分すごく大変なお金がかかってくるということですよ。その辺でちょっとこれ問題になるんですけども、その辺どんな金額になるのかなという。例えば今、もし買い上げする場合にどのくらい地権者の方たちにお払いするのか。

これは南部公民館も同じです。私も南部公民館にずっとかかわってきたのに、そんなたく

さんのお金を払っているということも、本当に申しわけない、知らないで来てしまいましたけれども。でも、あその駐車場がなければ、南部公民館もいろんな活動ができないという形で、途中からあその土地をお借りしたんですけれども、その辺も含めて、やはり何年どのくらい払って、それを今から買えるのかどうかというところをしっかりと研究していかなくちやいけない。委員長のおっしゃるとおり、本当に大事な問題かなと感じています。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

私の提案は、こういうふうにある中で、全部一遍じゃなくてどこでもこの場所とか、できるところから汗をかいていただいて、そして進める。なぜ私がそう言うかといったら、賃貸でやるよりは購入したほうが全然安いですよ。もうこれから、例えば過去の数字から考えますと、竜王の時代から考えればそれはとくにそういう金額でございますから、これからも同じことを続けていくのかということで、一遍にはできないけれども、段階的にやっただけであればということの中で、要望をさせていただくということでございます。

ほかにございますか。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） やはり今、滝川委員が言ったとおりで、こういう学校とかテニスコート、また公民館もそうですけれども、5年とか10年で施設の使用が終了するような問題ではありませんから、もう学校を建てるということは、もうずっと半永久的にそこに学校があるということですから、それをこんな用地を借りるなんていうことは普通考えられないことですから。

ただ当時、補助金をもらって学校を建築するときに、用地の取得の問題もあって、やはり地権者がなかなか協力してくれなくて、難しい問題があつてこういう置き去りになってしまったと思うんですけれども、それにしても、やはりこれは早い時点で解決しなければならない問題がこのように長期になっているということですから、この辺でまた仕切り直しをして、もうこういうものは一切全部整理するという強い気持ちを持って地権者とも話を進めながら、もう地権者にもこの土地が戻ることはないんだから、そういうこともお願いしながら、ぜひとも協力してほしいということで、本当に1年でも早く解決すべき問題だと思しますので、今回ぜひともこの問題は取り上げていただいて、市のほうにも強く要望すべきだと思います。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

ほかにはございますか。

[発言する者なし]

○委員長（三浦進吾君） それでは、次に（２）災害対策整備事業について、山本委員よりご説明をお願いいたします。

○委員（山本今朝雄君） 私は、今回防災リーダーということでお願いをしたいと思います。昨今、本当に想定外の災害が発生しているわけでございます。たまたまありがたいことに、甲斐市は災害が少ないところでございますけれども、いつ何どきどんなことがあるかわかりません。備えあれば憂いなしということわざもありますから、ということでお願いをするわけでございますけれども、各常任委員会で２つくらいということでございますので、ほかを見ますと皆さん、立派な内容の要望書が出ておりますから、私はただ、今後はまた防災室のほうへ、防災委員もいますから、その辺の兼ね合いもありますので、その辺は委員会等でまた要望していきたいと思っておりますから、ここで僕の意見だけ聞いていただいて、僕は取り下げてもらっても結構ですから。よろしく申し上げます。

○委員長（三浦進吾君） ただいま山本委員のほうから、要望書も提案なされたようだけれども、先ほど委員会でこのくらいというような数字を出した中で、山本委員のほうから取り下げでもいいというお話が出たんですけれども、何かご意見ございますか。

今の山本委員の質疑に対して何か、質疑と意見もございまして何か、よろしいですか。取り下げということでよろしいですか。本人が取り下げ。

[「お願いします」と呼ぶ者あり]

○委員長（三浦進吾君） じゃ、休憩いたします。

休憩 午前10時14分

再開 午前10時17分

○委員長（三浦進吾君） 再開いたします。

山本委員のほうから提案の取り下げということでよろしいですね。

滝川副委員長。

○委員（滝川美幸君） 今、山本委員のこのご意見は、すごく私は大事なことだと思うんですけれども、今2つか3つという形で遠慮なさっているとしたら、保坂議員のこの予備発電の設備の件は、もしかしたらこの消防費のほうに災害対策費として、もし一緒に入れられるの

であれば消防対策、災害対策費の中に2つ入れて、1つとしてまとめるということも可能ではないかななんて内容的に思えるんですけども、私はそんなふうに思います。取り下げなくても、これ一緒に検討することも可能かなと思います、いかがでしょうか。

○委員長（三浦進吾君） 今、副委員長のほうからお話がありましたけれども、委員さんの要望書が出ているから一応説明を聞いてから、またご意見を伺いたいと思いますけれども、それでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（三浦進吾君） じゃ、そんなふうにさせていただきます。

それでは、3番目の小浦委員、お願いします。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） 玉幡公園の件ですけれども、藤巻町長の時代に何かこれが発案されて、その後、合併してからこの公園が完成したんですけれども、立派な公園ですばらしいですけれども、ただ、公園は公園として本来の公園だったらよかったですけれども、えらいお荷物がついちゃって、プールが、温水プールですか、あれは。それで年間の支出額が8,700万もかかっているらしいですね。そしてその収入は、その半分以下の4,000万ほどで、一般財源への支出が4,600万円もあるんですよ、5割以上もあって。

こういう負担、たくさんの負担がかかる施設というのは、本当にこれからも見直さなければならぬと思うんですよ。特に行財政改革を推進する上では、このプールだけではなくて、温泉とかそういう施設なんかもいろいろありますけれども、市で運営している施設もどんなふうにしていいか、これからも一般財源がこんな年間で4,600万もかかれば、10年間で4億6,000万というような莫大な金額になりますから、ほかのほうに有効に使っていただきたいと思います。

やはり補助金がつく事業は、建築するときには補助金がつきますけれども、維持管理には補助金がつきませんから、そういうことも考えながら、これからもこういう施設をぜひとも建築をするときには考えていただきたいということも含めながら、こういう莫大な一般財源を食うような施設は、市の行財政改革の中で見直しをして、一遍に全部できなくても、順にどんなふうにしたら維持管理費が少なくて済むかということも考えながら、運営をお願いしたいと思います。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

また意見は後でします。

続きまして、4番目の保坂委員、お願いします。

○委員（保坂芳子君） これを出した理由なんですけれども、いわゆる自家発電ですよ。自家発電がどこにあるかということで、この間、情報では、もし例えば堤防とかが決壊して水害が、この間の常総市のようなああいう大きな水害が突発的にもし起こった場合に、水浸、水につかる可能性のある都市、あれ県内だったのか国だったかわからない、国交省か何かだったかな、甲斐市が一番先に書いてあったんですよ。甲斐市が多分どのくらい、1メートルか2メートルまでいくかどうかかわからないですけれども。だから、地上にあると危ないなと思ったんですよ。ちょっと聞いて昔は4階にあったと。だけれども、今はどうも表にあるらしいんですよ。

だから、これはちょっと対策をしないと、電気が全部だめになった場合に、その自家発電がだめになっちゃうと、無線から何からそういう防災室にあるものが使えなくなってしまうたりなんかするので、新しいところはどうなのかなと聞いたら、地下にあるらしいんですよ。だから、作り直すなんてまたすごい莫大な金額がかかるんだけど、少なくともそうなる可能性があるときに、絶対水にぬれないような何かこう柵というか、それを早急にしないと、きょうもテレビでやっていましたけれども、いつああいう水害というか、ああいう爆発的な水の雨量があつてということにはわからないので、これは早急にしていただきたいということでした。

ただ、これ防災対策室ではなくて、多分総務のほうの維持管理事業のほうに入るらしいんですよ、防災対策室ではなくて。その辺のところはちょっと、款とか項とか目というところが変わってきちゃうからちょっとあれなのかなと思うんですけれども、そういうところで、これは早急にしていただきたいと思ひまして、提案します。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

続きまして、樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 先ほどの市民サービスの低下にならないような見直しをということでございますが、甲斐市の公共施設、公用車の維持管理費、それから各種の事業の経費の見直し。これは、今まで皆さんが出されたような中身が包括されているというような感じもするんですけれども、いずれにしろ厳しい財政状況のもとで行財政改革も進められておりますけれども、市民のサービス低下につながらないような形でのやっぱり見直し、経費の見直しが必要ではないかなということで、包括的に皆さんの意見を集約してここへ載せました。すみません。ということでお願いをしたいということです。

○委員長（三浦進吾君） わかりました。

今委員会に要望書が提出されました委員さんからご説明をいただきました。この委員さんの要望書に対して、お聞きしたいことがございましたらお願いいたします。例えば、各委員さんから説明がございました。それを委員さんに対してもっと聞きたいところがございましたらお願いいたします。

有泉議長。

○議長（有泉庸一郎君） 今、皆さんの貴重なご意見をお伺いしたわけですが、かなり最終的には3常任委員会をまとめて議会として要望するわけですね。また違う他の常任委員会からどんなような意見が集約されて出てくるかわかりませんが、この一覧を見ますとかなり似通ったような部分があるんですね。その辺はまた総務常任委員会で決めたのは決めたでもいいんでしょうけれども、また同じようなご意見がある場合は、ぜひ集約して出していただいたほうが、議会として出すので、先ほど樋泉委員や小浦委員が言ったようなことも、三浦委員長が言っていることもかなり共通点がみんなありますので、その辺をうまく集約、これからの問題だと思うんですが、そういうふうにしていただいたほうが市へ要望する場合はいいんじゃないかなと私は思いましたので、ちょっと今発言させてもらいました。すみません。

○委員長（三浦進吾君） はい、ありがとうございます。

今、議長のほうから提言もございましたし、その中で厚生とか建設とかの委員さんからも出ている案件も要望書もあるわけですね。ただ、それと中には重なっているところもあるかな、あるいは似通っているところもあるかなということも考えられるわけでございます。そういう中もあるわけでございますけれども、どうですか。先ほど各委員さんから要望書のご説明がございました。それに対してお聞きしたいこととかあればお願いしたいと思います。

有泉議長。

○議長（有泉庸一郎君） 余り傍聴にいろいろ聞いても。三浦委員長が提言しているこのことは、4つの賃借料ということになっていますけれども、これはほかにもあるわけですね、これ以外にも。だから、余り特定しないほうがいいんじゃないかなというような気がするんですけれどもね。竜王西小とか竜王中学校とかじゃなくて、ほかにも多分、敷島とか双葉のほうにもこういうようなものはあるんですね、ある可能性はありますよね。どんなものでしょうかね。だから、もし要望されるときには、よくちょっと調べて文言を多少変えるとかというようなことも考えられるんじゃないかなと思うんですけれども。

○委員長（三浦進吾君） 決算の中で金額が大きく、あるいは各目の数値みたいな中で大変な金額になっているところもあります。私がお願いするのは、ここと限定すると例えば契約期限あるいは地権者の考えが私はわからないから。だけれども、こういう広範囲であればこの中のどれかでも、例えば次年度に生かさせていただければ、あるいはその次でもいいです。だから、そういう借地料でやるよりはもう買い上げのほうの方が全然安いわけですね。例えば、ここで何かこの場所が撤退するとか、あるいは閉鎖されるという場所であれば賃貸でもよろしいと思うんですけども、半永久的に使う場所であれば、もう購入したほうが圧倒的に安いわけでございます。だから、そんな点でここの学校、例えばここの施設というように限定すると、例えば職員も汗をかくに大変プレッシャーになると思います。だから、そういう中で順次やっていただければいいという中で、要望をさせていただいたということでございます。

長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 今のこともなんですけども、当局のほうに議会として要望するのでアバウトな内容よりも、広範囲なというよりも、ポイントを絞ってより具体的な内容のほうが僕はいいかなと思うんですね。要するに、その具体的な内容を実行してもらうことを目的にしていますので、そうなってくると今のこの賃借料の関係でいうと、この中でやっぱり一番大きな問題というのは学校用地だと思うんですね。駐車場とかテニスコートというのは、金額的には大きいかもしれないですけども、まだかわりがきくものだけれども、学校用地というのは、先ほど小浦委員が言ったように、もう半永久的にあそこを使い続けるということを考えると、これはやっぱり非常に大きな問題だと思うんですね。そうすると、やっぱり非常に大きな問題を優先的に、具体的な要望として提出していくということのほうがいいのかなと。

あと、議会改革の委員会の中で委員の皆さんの中で出た意見というのが、より実効性のある内容をしないと意味がないんじゃないか。これは絶対やらしてもらえないということを要望しても、余り意味がないんじゃないかという意見もあったんですけども、より重要になってくるとそれはなかなかやらしてもらえないということにもなるので、ちょっと難しい部分があるんですけども、ただ、三浦委員長のこの要望書で見ると、これは先ほど具体的にしないで幅広くという意見がありましたけれども、私は逆に西小に絞っての要望書のほうがいいのかというふうな感じがするんですけども、そんなお考えはどうでしょうか。

○委員長（三浦進吾君） 実は西小の、例えばその地権者とか今までの歩んだ経過がわからな

いから、例えばそこに限って提案しちゃって、内容を聞いたらこれは難しいということで1年先送りになっちゃうということの中で、この借地料の中でそのときの担当者は余り、もう今までがこうだから慣例で来ちゃっているというふうに思うわけです。

だから、契約期限が決まっておったり、あるいは途中でも例えば解約を見直して購入ということがあるわけです。だから、そういうことで汗をかいていただければいいと思う。それで、ある程度枠、その部署が全部一括の場所、お金を出すところは同じかもしれないけれども、交渉の窓口が違うかなというところもある。そういう中で、とにかく次年度に一つでもそれが生かされるということでは、たまたまこういう形でそれを費用を計算していただくとうまくわかると思うんですけども、そんなことで提案ということで要望なんです。よろしくお願いします。

小浦委員。

○委員（小浦宗光君） やはり三浦委員長は商売柄というか、いいところへ目をつけたと思うんですけども、これは4つあるのは箇条書きに4つ書いてありますけれども、こういう具体的に書いておけば、この問題、この問題ということですからわかりやすくいいと思います。ほかにも何々ほかとかいろいろやっておくと、やはりぼやけちゃって職員としてもそれには取り組まない場合がありますけれども、こうやってちゃんと指定をして、これを早く取り組みなさいということでやることですから、これは箇条書きにすることはわかりやすくいいと思います。

それで、ただ、文章の一番最後に、削減に向けて今後の方向性をと書いてありますけれども、ここはちょっとやわらかいですから、もっときちんと要望する場合は、一年も早く買い取りができるように努力してほしいというような、そんなふうな文章にして、そして来年度からすぐ取り組んでほしいということを強く伝えてほしいと思うんですよ。もう来年度の予算の一つでも二つでも反映できるように、長く年数がかかっているから、かえって相手の所有者ももうあきらめて、そろそろしょうがないやということでこっちが熱心に更新に行けば、向こうでも折り合ってくれるとか、話し相手になってくれるとか、用地を手放してくれるとか、そういうことがあると思いますので、ぜひともこれは強く要望をしていただきたいと思います。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

ただいま、小浦委員からこの文言がやわらかいというところですが、どういうふうに要望書を書いたらよろしいかなと思うわけですけども。

[発言する者あり]

○委員長（三浦進吾君） じゃ、ほかにご意見ございましたら。この中で2つか3つに絞らなきゃならないんですけども、そういう先ほど委員さんからご説明あったのに意見を。

長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 先ほど私言ったように、より具体的なほうがいいというふうに思っています、保坂委員の予備発電設備ですか、これは具体的ですし必要性が迫られていることもよく理解できますし、これは実現がかなり大きく可能な内容だというふうに思います。ですので、私は保坂委員のこの要望書は取り上げていただきたいなというふうに考えています。

○委員長（三浦進吾君） ほかにございますか。

先ほどの中で2番の山本委員、あるいは5番の樋泉委員のは取り下げということでございますので、そのほうは取り上げなくてもよろしいかなと思うんです。それ以外の方で、あとはどんなふうに諮ったらよろしいか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 私は、先ほど言った行財政改革の推進事業についてに絞るということだったんですが、全体に広くあまねく共通する問題ということなんでありまして、小浦委員の玉幡公園のプールの問題も、やはり維持管理費の削減ということで、大きな意味では行政改革の中に入るかなと、こんなふうに思うんですよね。ということで、どうなんでしょうかね、そこの辺が、具体的な要求として出すということであれば、これは残しておいたほうがいいのかなど。

私のほうの行革については、26年度は60項目にわたってやったんですよね。そういう点で行革の推進ということであれば、これはもう全般的に見直すということだから、具体的な問題として取り上げて、4本の矢でも2本の矢でも構わないんですが、放てば心臓目がけて実行できるんじゃないかなと思って、そんな気持ちもあるんですよね。だから、私のほうのこれはまた行政改革の推進というのはこれは取り下げても結構で、みんなに具体的な項目として取り上げてもらうというふうにしてもらいたいと思うんですけどもね。

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

今、樋泉委員から玉幡公園も行革という中で本人からもご説明もございました。そんなことで、じゃ6番目のほうは樋泉委員の意見を尊重させていただきまして、そうしますとあれですかね、総務では幾つぐらい。

[発言する者あり]

○委員長（三浦進吾君） 3つでいいですか。じゃ3つということで、よろしゅうございますか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（三浦進吾君） じゃ、1番、3番、4番ということでいいですね。

じゃ、総務教育常任委員会では3事業を要望させていただきますけれども、要望書の内容につきましては、多少この要望より文言が変わるかもしれませんが、また委員さんと相談しながらそんなふうにしたいと思っておりますけれども、よろしゅうございますか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。

次に、次第の4、その他に入ります。

委員の皆さんからありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

先ほどの要望書について、各委員さんより文章のほうを修正箇所があればもう一度おつくりして事務局に届けていただいて、また要望書ができ次第、委員の皆さん方にファクスでお伝えするというところでよろしゅうございますか。

[「異議なし」呼ぶ者あり]

○委員長（三浦進吾君） ありがとうございます。では、そのようにさせていただきます。

先ほど、皆さん方のお手元に決算審査特別委員会が10月15日にございますので……

[「その他でお願いします」と呼ぶ者あり]

○委員長（三浦進吾君） その他、事務局よりご説明お願いします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） ご苦労さまでした。

それでは、総務のほうから3件ということでご提出をさせていただきたいと思っております。

先ほど委員長が言いましたように、申しわけないんですが、委員さんにつきましては提案された文面をもう一度私のほうへ今週中に出していただければ、その内容をまた局長と話をしながら少し直させていただき、皆さんにファクスをするということでお願いをしたいと思います。

また、今後の日程になりますけれども、10月15日に決算審査特別委員会ということで1時30分よりここで行います。それぞれの委員会から上がってきたものをまとめさせていた

だき、最終的にこの15日に決定をし、市長のほうへ要望していくという形になりますので  
よろしくお願いをしたいと思います。

また、15日につきましては、決算審査特別委員会終了後、全員協議会を開催して総合計  
画等々につきまして、また秘書政策課のほうからご報告等ありますので、よろしくお願いを  
します。

またその後、議会運営委員会ということで、議会運営委員さんにつきましては、その後、  
議会運営委員会を開催をしたいと思いますので、よろしくお願います。

なお、その日午前中11時になりますけれども、敷島の吉沢地区の市民と議会の対話集会  
のリハーサルということで、その日は午前中から敷島地区、双葉地区の議員さんにつつまし  
てになりますけれども、11時にこの委員会室へ来ていただいてリハーサルを行い、午後か  
ら決算審査という形になりますけれども、よろしくお願いをしたいと思います。

また、総務教育常任委員会につきましては、11月分につきましては、11月5日午前9時  
半を予定させていただき、その後、午後から図書館協議会との意見交換会を開催を予定して  
おりますのでよろしくお願いをします。

次に……

〔「もう一回5日のスケジュールをお願いします」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） 5日9時30分、午前中に総務教育常任委員会。午後1時半から図書  
館協議会との意見交換会を行いたいと思います。

また、秘書政策課のほうで総合戦略の人口ビジョンの関係で東京の視察ということで、  
11月14日の土曜日を予定したいと思っております。11月14日土曜日に、委員会だけです、  
委員会の全員の方に、もちろんちょっと用事があって行けない方は別としまして、総務教育  
常任委員会として11月14日視察を予定させていただきますので、5日の総務で派遣を依頼  
をさせていただき、行きたいと思います。1日かかると思います、東京行って帰ってくるの  
で。

〔「日帰り」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） もちろん日帰りでございます。

一応予定としまして10月15日、11月5日、11月14日となります。近いところすみませ  
ん。9日ですか、金曜日、文化財の研修がありますので、行く方につきましては9時半に下  
の正面玄関へご集合をお願いします。

なお、服装については背広等ではなくて、リラックスした格好でも構いませんので。作業

着じゃなくていいです。

〔「長靴じゃなくても」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） 長靴じゃなくていいです。運動靴で。

〔「歩くんでしょう」と呼ぶ者あり〕

○書記（山岡広司君） そんなに歩かないと思いますよ。

ということで、日程等を確認をさせていただき、よろしくお願いをしたいと思います。

以上となります。

○委員長（三浦進吾君） 報告が終わりました。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、総務教育常任委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時52分